

昆虫

2011年11月現在、蝶・蛾類は75種、トンボ類は10種、甲虫類は8種を観察しています。

昆虫の多様性は、食草となる植物の多様性にも依存しています。森づくりが進むにつれ、どんな植物が現れ、それにともない、どんな昆虫が集まるようになるのでしょうか。昆虫たちのサインを見逃さないよう、注意深く観察していきましょう。

蝶と食草・食樹



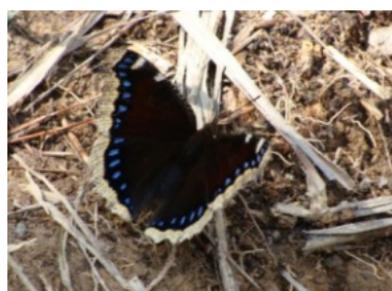
ウスバシロチョウ(6月)
＜幼虫の食草＞ムラサキケマン



ジャンメチョウ(7月)
＜幼虫の食草＞ススキなどイネ科の植物



アサギマダラ(8月)
＜幼虫の食草＞イケマなどガガイモ科の植物



キベリタテハ(8月)
＜幼虫の食樹＞シラカバなどカバノキ科の植物



ゴマダラチョウ(8月)
＜幼虫の食樹＞エゾエノキなど



ミヤマカラスアゲハ(9月)
＜幼虫の食樹＞キハダなどのミカン科の植物

個性的な昆虫たち

悪臭を放ち「^ク屁こき虫」「クサムシ」とか呼ばれ、嫌われ者のカメムシたちだって、虫たちはみんなおしゃれ。甲虫たちも、つややかな^{えらい}鎧を着て強そう。トンボのしっぽも。みんな個性的です。



アカスジキンカメムシ(6月)



ツノアオカメムシ(7月)



アオカナブン(8月)



ゴマダラカミキリ(8月)



ノギリクワガタ(8月)



カワトンボ(6月)



オニヤンマ(8月)



アキアカネ(9月)